

第 1 2 1 回中央社会保険医療協議会総会（公聴会）の概要

平成 2 0 年度診療報酬改定に当たり、医療の現場や患者等国民の声を反映させるため、中医協委員が国民の生の声を聞く機会を設定することを目的として公聴会を開催したところである。

- 1 開催日時
平成 2 0 年 1 月 2 5 日（金） 1 3 時 0 0 分～ 1 5 時 1 0 分
- 2 開催場所
前橋市市民文化会館 小ホール
- 3 傍聴者
約 3 0 0 名（うち、意見発表者 1 0 名）
- 4 意見発表者の主な内容
 - 診療報酬改定率の根拠及び勤務医の優遇策について明確に示して欲しい。また、特殊疾患入院料の見直しに当たって脳卒中の後遺症及び認知症の患者が算定から外れることについて見直して欲しい。（男性・医師）
 - 患者さんから高い評価の得られる骨太の指導管理体系になること、より質の高い歯科医療の提供及び歯科診療上の経営の安定につながる改定を希望する。（男性・歯科医師）
 - 地域の患者さんから信頼される薬局をつくることに積極的に関わる薬局薬剤師を高く評価する報酬体系が提案されることに期待する。（男性・薬剤師）
 - 7 対 1 の看護必要度の導入には、看護の現場はかつて無い過酷な勤務になっていること、患者の命と安全を守る上で有益なのか疑問であること等から反対である。（女性・看護師）
 - 脳卒中の治療成績向上について、今後の診療報酬改定において現実に即した結果、治療成績に基づいた評価で促進する仕組みの導入を願う。（男性・医師）
 - 再診料の格差是正、明細書付きの領収書を無料で発行することの義務化、診療報酬体系の簡素合理化、処方せん様式の変更等の実施状況の検証を要望する。（男性・健康保険組合）
 - 基本的な基盤を確保しながら良い医療を実践した人が報われる、未来に対して明るくなる医療を診療報酬などで枠組みを作っていく、個別に対応するのではなく総合的に対応することが重要である。（男性・患者団体）
 - 今後、国民が安心して暮らしていくために極めて重要な事であることから、種類だけでなく商品名が記載されたレセプトなみに、個別の診療報酬単価まで確認できる明細書を無料で発行することを法的に義務付けていただきたい。（女性・患者団体）
 - 地域医療を支えるために医師を確保することが最重要事項である。（男性・病院事務員）
 - 地域の医療機関の経営を安定させ、安心して受診できる体制を作ることが勤務医対策にもつながることから、地域医療機関の大切な原資である再診料は引き下げべきではない。（男性・医師）